

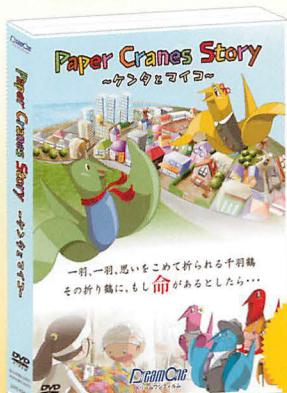
Paper Cranes Story

～ケンタとマイコ～



一羽、一羽、想いを込めて折られる千羽鶴……
その折り鶴に、もし“命”があるとしたら…!?
平和を求めて、ケンタとマイコの冒険が今始まる!!

毎年8月の広島、長崎の原爆記念日に、世界中から何十万という数の千羽鶴が広島、長崎の平和記念館に送られてくる。千羽鶴は平和の象徴として、世界に誇れる素晴らしい日本発の文化である。千羽鶴は希望や平和への願いを込めて一羽一羽丁寧に折られていく。Paper Cranes Storyを通して、日本の折り紙文化のすばらしさを世界に再認識してもらいたい。これはそんな“想い”により命を授かった折り鶴少年 ケンタとマイコの物語。



監督：YORIYASU

イラストレーター／アニメーション監督。代表作品は、短編アニメ「RE:Map」（2008）が、ロサンゼルス・ジャパンフィルムフェスティバルで審査員特別賞を受賞。「OROKA」（2010）が山形国際映画祭でアニメ・CG部門「最優秀賞」受賞。最新作「嫌われ者のラス」がタバコファンタスティック国際映画祭（2013）でインターナショナル・ショウケース部門で優秀アニメ賞を受賞。世界が注目する若手アニメーション監督。

STORY

折り鶴を擬人化したファミリー、鶴紙家。主人公は鶴紙家の長男の健太とサラエボから帰国した折り鶴の舞子。健太は少し勝気でテレ屋だが、折り鶴学校で傷ついた羽根を癒す舞子に出会う。健太は舞子に出会った事で、世界に傷ついた人たちが沢山いることを知る。舞子は戦争で傷ついた子供たちを励ますためサラエボに贈られた千羽鶴の一員だった。そこで出会った少年と偶然に心を通わせ、内戦でもっと悲惨な状態にあるウガンダの子供たちの事実を知る。舞子は次にウガンダに向かうことを少年と約束し日本に帰国した。健太は舞子の異国での体験を聞いたことで自己に目覚めしていく。折り鶴の宿命として千羽鶴の一員として家族と行動を共にするか、家族と離れ舞子と一緒にウガンダに行くか思い悩むが、舞子とウガンダに行くことを決断する。ストーリーは、現代社会の背景にある現実のエピソードを舞台に、“折り鶴の使命”を背負い目的地に向かう健太と舞子のドラマをクロスさせながら進行する物語。



制作／著作：DreamOne 株式会社ドリームワンフィルム

価格 ライブrary：個人貸出・館内上映／団体貸出・館外上映権付 17,000円（税別）

■取扱店 **(株)オプチカル** 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101